

# 事業概要シート

施策：芸術・文化の振興

《 》は、29年度の当初予算

事業名：心と郷土愛を育むミュージカル鑑賞事業	新規	予算額	10,018 千円
		《 》	0
財源内訳	国庫支出金		千円
	県支出金		千円
	地方債		千円
	その他		千円
	一般財源		10,018 千円

## 【事業の目的・概要・対象】

●目的 戊辰戦争で角館に出征、戦死した大村藩士浜田謹吾少年の存在がきっかけで現仙北市との姉妹都市縁組がなされた。来年度、明治150年を迎えることから、謹吾少年を題材とするミュージカルを鑑賞させ、郷土の歴史、人物、仙北市と本市との関係について、理解を深めさせる。

●概要 肩ひじ張らずに楽しめ、心を揺さぶるミュージカルを子供達に鑑賞させる。15歳の謹吾が題材。

ミュージカル802万5千円、送迎バス賃借料199万3千円

●対象 中学1・2年生6公演  
併せて一般公演の実施を検討する。

## ●心の根っこと郷土愛を育てるミュージカル体験

- ⇒
- ・視覚聴覚を強く刺激する体感効果。
  - ・近い年齢の郷土の人物を疑似体験。
  - ・郷土史にも思いを巡らせる時間。
  - ・謹吾と姉妹縁組の理解は、仙北市との交流にも有効に作用。

## ●プロ劇団による浜田謹吾のミュージカル

⇒劇団四季、宝塚歌劇団に次ぐ、劇団わらび座のオリジナル最新作。

謹吾が戦火の中で何を考え、決断し、どう生きるのか。現代を生きる少年の姿と交差させながらの生歌やダンスは、必ず強く心に響く。

## 【背景】

- ・平成30年度の明治150年を機に、姉妹都市仙北市に拠点を置き、日本を代表する劇団が制作する。
- ・仙北市も子供達に鑑賞させるので、謹吾や姉妹縁組について共通理解を持てる。
- ・子供の時期は、学力とともに心を育む教育の充実、さらに、郷土愛を育む教育の充実も必要。
- ・九州経済連合会がミュージカルへの支援を考えている。

担当課	教育委員会文化振興課	問合せ先	0957-53-4111 (375)
-----	------------	------	--------------------

# 事業概要シート

## 【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	ミュージカル上演回数	目標値 回			6		
②		目標値					

## 【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	鑑賞生徒数	目標値 人			1,998		
②		目標値					

## 【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費					10,018		10,018
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源					10,018		10,018
人件費					476		476
職員					0.06人		0.06人
時間外勤務					20h		20h
嘱託員					0.00人		0.00人
フルコスト	0	0	0	0	10,494	0	10,494

妥当性 (市の関与)	明治150年を迎える来年度、本市出身の人物を題材とするプロ劇団のミュージカルを本市の未来を支える子供達に鑑賞させる機会を設けることは、郷土愛を醸成し、また、姉妹都市について理解を深めさせる上で妥当である。
有効性 (施策貢献度)	生きる力や心の教育の推進、また、子供の時期にミュージカル鑑賞の機会を与えることは、芸術文化の振興に有効である。
効率性 (コスト)	ミュージカル上演委託料と子供達の学校送迎バス賃借料に絞り込んでおり、これ以上のコスト削減はできない。

1次評価	芸術文化の振興に加え、郷土教育や姉妹都市の理解にも必要な事業である。
2次評価	1次評価の意見のとおり